

令和6年度 指定管理者モニタリング報告書

施 設 名	加東市産地形成等促進施設・道の駅とうじょう
施 設 所 在 地	加東市南山1丁目5番地3
指 定 管 理 者	名 称 株式会社 夢街人とうじょう 代表者 代表取締役社長 住 所 加東市南山1丁目5番地3
モニタリング の 実 施 方 針 ・ 方 法 等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、 実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントし たうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた 考え方」を記載した。
担 当 課	産業振興部 商工観光課 電話 0795-43-0530 担当者氏名 竹内 誠彦・山本 舞

1 総合コメント

施設内は清掃が行き届いており、適切に管理されている。利用者アンケートの結果からもスタッフの顧客対応や、事業及び施設管理の内容について支持する声が大半であり、全体として良好な運営がなされている。

特産館は、加東市内及び近隣地域のイベントに出店した際に、関係者と情報交換を行い、山田錦を使用したオリジナル商品の開発とともに新規仕入れ先を開拓し、山田錦を使用した商品の取り扱いを増やした。また、山田錦の特A地区である強みを活かして山田錦を原料とした酒類販売を強化することで、酒類の売上は対前年度比108.1%と伸長した。

農産物直売所は、直売所売上の柱の一つであるいちごにおいて、新規生産者を1名増員したことで12月～3月の4か月間における果菜類の売上が前期比116.3%と伸長した。また、地元生産者団体コスモスの会の会員同士で協力し合い、生産場所から道の駅とうじょうに商品を配送する仕組みを整えたことで、商品の調達が容易になり販売機会のロスが大幅に減少し、売上が過去最高金額（1億1,378万円）となり、前期比102.5%と伸長した。

コンビニは、前期の売上データを参考に、利益率の高い商品を厳選して陳列するなど、売り逃しの少ない精度の高い売場作りに尽力した。また、賞味期限の近い商品に値引きシールを貼り、売り切る取り組みを増やしたことで廃棄率は前期より0.5%減少した。

引き続き、特産館、農産物直売所においては、新規仕入れ業者の開拓や生産者の獲得等により取扱商品の充実を願う。特に、農産物については、売り上げの核となるいちご、ぶどう、桃を加東市ブランドとして需要に対応できるよう商品確保に努めていただきたい。

利用者アンケートの結果、利用者の約28%が市内在住者であることから、当該施設が地元生産者と地域の顧客から支持されていることが分かる。

また、利用者アンケート結果から大阪府をはじめ県外在住者が約24%程度を占めており、施設満足項目についても地元特産品が豊富で安いという声が約52%を占めていることから、地場産品の流通を通じた地域活性化を実現している。

今後とも適切な指定管理業務を遂行していただきたい。

2 今後の改善に向けた考え方

特産館、農産物直売所では、新規仕入れ業者の開拓や生産者の獲得等により取扱商品の充実に継続してほしい。

農産物については、売り上げの核となるいちご、ぶどう、桃を加東市ブランドとして需要に対応できるよう商品確保に努めていただきたい。

3 業務の履行状況について

協定書・仕様書で定められた項目について、適正に履行できている。

4 サービスの質について

利用者アンケートによると、職員の接客態度や事業内容についての評価は良好であった。バスツアー受入時は旅行会社・バス会社等と事前に連携し、円滑な受入を実現している。

トイレ改修工事により、従来より個室数が増え、混雑時にも快適に利用できるようになった。また、繁忙期における駐車場への警備員の配置による駐車場の混雑による事故防止など、トラブルの未然防止にも努めており、適切な対応やサービスの向上に努めている。

利用者アンケートの改善点を踏まえ、引き続き関係機関と連携しながら、満足度が低い取り組みの改善を行いながら、運営いただきたい。

5 収支状況等について

特産館の売上は前期比 99.2%、農産物直売所の売上は前期比 100.4%、コンビニの売上は前期比 101.1%、全体で 100.5%と微増となっている。

最低賃金の上昇、物価高など厳しい経営環境が続いているが、今後も市場変化に対応した取組や事業の提案に取り組んでいただきたい。